

今日のトピック **メキシコ中銀も0.5%に利上げペースを減速 米FRBに追随、今後は利上げの着地点を探る展開に**

ポイント1 政策金利は10.5%に上昇

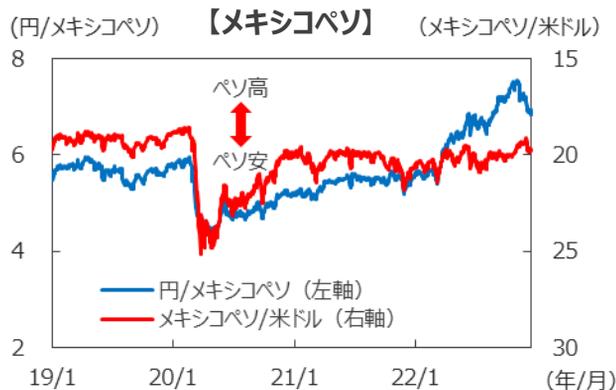
- メキシコ銀行（中央銀行、中銀）は12月15日に金融政策決定会合を開き、政策金利を10%から10.5%に引き上げました。
- 中銀はこれまで4会合連続で0.75%の利上げを実施してきましたが、今回は利上げ幅を0.5%に縮小しました。インフレは高止まりが続くものの、経済的なつながりの強い米国での利上げペースの減速に追随した格好です。



(注) 政策金利は2019年1月1日～2022年12月15日。
消費者物価は前年同月比、2019年1月～2022年11月。
(出所) FactSet、メキシコ銀行のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ポイント2 来年も利上げ継続、政策金利は11%まで上昇へ

- メキシコのインフレ指標については足元で減速の兆しも見られますが、変動の大きい農産物とエネルギーを除く消費者物価のコア指数は11月に前年同月比+8.5%へと加速し、依然として高水準が続いています。
- インフレや米連邦準備制度理事会（FRB）の動向をにらみつつ、中銀は当面利上げを継続するものと思われます。弊社では、政策金利は来年には11%まで引き上げられるものと予想しています。



(注1) データは2019年1月1日～2022年12月15日。
(注2) メキシコペソ/米ドルは逆目盛。
(出所) FactSetのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

今後の展開

堅調なファンダメンタルズと 利上げ継続でペソは来年も底堅い展開か

- 大きく進んだ米ドル高の反動から対主要通貨でドルが反落したため、メキシコペソも一時的に対ドルで強含む局面がありましたが、足元ではこうした動きは落ち着きつつあります。
- 堅調な経済ファンダメンタルズに加え、政策金利がインフレを大きく上回る水準まで引き上げられていることが、引き続き通貨ペソを下支えしそうです。弊社では、通貨ペソは1米ドル=20ペソを中心とした堅調な推移が来年以降も続くものと予想しています。

ここも チェック!

2022年11月14日 **メキシコ中銀は0.75%の利上げ継続、政策金利は10%に**
2022年10月 3日 **メキシコ中銀は3会合連続で0.75%の利上げ**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。